



励まし合い、応援し合う

生徒のみなさんへ

● コロナに負けない熊中スローガン ●

本格的にコロナと共に歩む学校生活も3年目を迎えました。毎年、「この1年を我慢すれば・・・」と、事態が終息するのを期待していますが、なかなかコロナは治まることがなく、厳しい状況が続いています。また、進級・入学したことで環境が変わり、勉強のこと、友だちのこと、部活動のことなど、どこか不安な気持ちになっている人も多いのではないのでしょうか。

このような状況だからこそ、皆さんに伝えたいことがあります。

『誰かに相談する』

一つ目は、不安なことを誰かに相談してほしいということです。「こんなことぐらいで相談するなんて」と心配することはありません。一人で我慢し抱え込むのではなく、家族や友だち、もちろん学校の先生など話しやすい人に気軽に話してください。ちょっとしたことでも構いません。話すことで少しでもあなたの気持ちが晴れたらいいと思います。まずは話すことが大切です。私たちはいつでも皆さんの力になります。



『当たり前なことに目を向ける』

二つ目は、今のように、日ごろ当たり前だったことがそうでなくなった時こそ、日常の「当たり前なこと」に目を向けてみてください。普段は気づかない、これまでの、友だちとの何気ない会話・かかわりや、ちょっとした思いやり、家族とのつながり、学校の授業や勉強の大切さなどです。つまり、あなたとつながる人たちや環境が、いかに大切にかけがえのないものだったのか、振り返って考えてみるよい機会です。日常が大きく揺らいだ時こそ、普段は気づかない大切なものの意味や価値に改めて気づけるのだと思います。人とのつながりを大切に、互いを思いやった行動を試みましょう。ピンチな時が成長のチャンス、今こそあなたの本当の良さが発揮される時です。今の経験は、必ず君たちのこれからの将来、人生に役立ちます。

そこで、皆さんがこの状況を乗り越えられるために、本年度も次のことに取り組んでください。

それは、「コロナに負けない 熊中スローガン」です。

今は大変だけれども、苦しいのはあなただけではありません。

こんな時だからこそ、**みんなで互いに励まし合ってください。**
そして、一人一人のがんばりを見つけ、応援合ってください。
そうすることで、「やってみよう」「がんばってみよう」という、不安な気持ちに負けない前向きさが生まれます。



そのためには、あなたの優しい心と強い気持ちが必要です。先生たちもみなさんを強気にバックアップします。わからないことや悩みがある時は気軽に話してください。一緒に考えて問題を解決していきましょう。みんなの心をひとつにして、やる気と元気のあふれる場所に熊西中学校をしていきましょう。君たちの活躍に期待しています。

コロナに負けない 熊中スローガン

大変だけど、こういう時だからこそ

励まし合おう!

みんなの心をひとつにして、一人一人のがんばりを

応援し合おう!

そのためにも、あなたの優しい心と強い気持ちが必要です

● 今一度引き締めよう！ コロナ対策 ●

残念ながら北九州市内においても、児童・生徒の感染者は多く、学級閉鎖も出続けています。おそらく対策をしていない人はいないと思いますが、学校において油断が感じられる場面を時々目にします。「もっと気をつけておけばよかった」と後悔しないためにも、再度、手洗い、消毒、マスクの着用、密にならないなど、感染防止の取組について一人一人が気を引き締めて取り組んでいく必要があります。

また、休日など学校外での過ごし方（感染予防）にも気を付けるようにしてください。具体的には、**学校で注意して行っていることを学校外でも同じように取り組む**という事が大切です。ですので、

- ・友達の部屋に大人数で集まり
- ・マスクなしで
- ・窓を開けず（換気をせず）
- ・手も洗わず
- ・お菓子を食べながら
- ・しゃべる

このようなことがないようにしなければなりません。これらのことは、友達の部屋に限らず、お店や公園でも一緒です。コロナ前の世界では当たり前に出ていたことですが、今は出来ないことがとても残念です。だから今は、「出来る範囲の中で楽しむ」ことを、皆さん一人一人の知恵と工夫で考え、実行することが必要なのです。

● 読書集会 ●

4月23日は「子ども読書の日」ということで、4月22日に読書集会の取組を行いました。21年前、日本の国を挙げて、「子ども達に本を読ませたい」「子ども達が本に親しむ環境を整備したい」という思いから、「子どもの読書活動推進法」という法律とこの記念日が誕生しました。5月12日までの20日間は、「子どもの読書週間」とされています。たくさん本を読んで、素敵な一冊に出会えるといいですね。

今年度も図書委員会の皆さんが中心となってライブ配信「くまちゃん」を使い、リモートでの開催となりました。図書委員と日下図書館職員によるお勧めの本の紹介や絵本の朗読、読書感想文の披露など、趣向が凝らされた内容でした。その後、皆さんが心静かに集中して読書する姿はとても素晴らしく、この取組をきっかけに、さらに読書に親しみ、素晴らしい本と出会ってほしいと思います。



【写真左】お勧めの本の紹介では、本の魅力を一生懸命に伝えてくれました。【中央左】〇〇図書館職員によるブックトークの様子。【中央右】本から学んだ自分の考えを素晴らしい文章で表した読書感想文を披露する2年生の〇〇さん。【写真右】絵本の朗読はスライドで各教室に映し出されました。【写真下】二時間目は静かな環境の中、各自が選んだ本をじっくり読みました。

本校では毎日、朝読書に取り組んでいます。読書が習慣になることで、「読むことが苦しくなくなる」「たくさんの言葉の意味を知ることによって知識が増える」「考えを広げたり深めたりする力がつく」「イメージする力が豊かになる」「発想する力、アイデアを生む力がつく」など、さまざまな効果が期待されます。本校が「言葉の力」を大切にしている理由はここにもあります。

ただ、このような良い効果の他にも、読書の魅力は「純粋に読むことそのものが楽しい」ということがあるでしょう。時間、時代、場所、空間を飛び越えたり、実際に会えない様々な人と対話したり、主人公と一緒に泣いたり、笑ったり、悲しんだり・・・別の人生を体験することができる、感動を共にすることができるとも言えるでしょう。それは物語に限らず、どのような本でも、読むたびに新たな出会いがそこにはあります。人との出会いと別れは自分ではコントロールすることが出来ませんが、読書は自分で出会いをつくりだすことができます。そこに大きな魅力があると思います。これからのみなさんの人生に、たくさんの素敵な本との出会いがあるといいですね。

